

「振り袖より留学」という娘

辰巳渚の
冠婚葬祭
セラピー



質問 大学で学ぶ娘は来年、成人式です。ところが、「成人式に出てもいいけど、振り袖は不要。そんなお金があったら、私の留学費用にまわして」と言います。夫は「振り袖よりも留学か。大人になったなあ」と感心しています。しかし、私は振り袖を着てもらいたくて仕方ありません。何とって説得すればよいでしょうか。(神奈川県・女子大生の母親 まだ40代)

答え

こんにちは。『ホワイト辰巳』です。いつもはブラック辰巳ですが、今回はホワイトです。

今回のご質問、もう何を子どもに遠慮しているんですか、お母さん!! 成人式の盛装は、お嬢さんが装って楽しむためにあ

振袖よりも留学、という選択は、一見、堅実で賢い選択に見えますね。でも、はっきり言って、目先の合理性だけしか見えない子どもの判断でしょう。

親は、目先の合理性よりも、大切なものがあることを、この機会を借りてしっかり伝えてく

式なんて、出る必要はない」と親に反抗し、親を悲しませた当の本人が四十歳半ば過ぎて言うのだから、間違いありません。それに、振り袖は似合ううち

親は、目先の合理性よりも、大切なものがあることを、この機会を借りてしっかり伝えてく

親の喜び!と説得して

るではありません。人生の節目節目に、そのときふさわしい式服がある。その服を子どもの身につけさせるのは、親の喜びであると同時に、務めです。子どもはその服に誇りをもって身につけつつ、親に感謝するのが務めなのです。

ださいな。そして、大人になるとは、自分の都合だけでなく、共同体のルールに自ら参加していくことだ、と教えてあげてくださいね。

お嬢さんが、友人の結婚式で、二十九歳で振り袖を着ても、二十歳で着るのはまったく違つのです。盛りの美しさを親に見せるのもまた、子どもの務めではないでしょうか。(フリーライター)

なものでも、タイミングを逃してしまつたら、つまり